

水産業競争力強化緊急施設整備事業事後評価報告書

			愛媛県農林水産部 水産局水産課		
目的		水産業経営の強化			
目標		餌料培養の効率化・生産コスト削減		整理番号 愛媛県-1	
事業実施主体		愛媛県漁業協同組合下灘支所			
実施地区		下灘地区			
実施期間及び目標年度		実施期間	目標年度		
		令和2年度	令和5年度		
助成金額		10,750千円			
事業計画の内容		【施工内容】 ・餌料培養作業室の設置 ・空調設備の改修 【施設の規模】 餌料培養作業室 48㎡（8000×6000mm） 空調設備 12kW相当×2台			
評価	取組の目標（KPI）		真珠貝養殖業者の収益性向上		
		基準年	（令和元年度時点） 4,700千円		
		現状値	（令和5年度末時点） 4,132千円	増加率	-12.1%
		目標値	（令和7年度末） 5,176千円	増加率	10.1%
	成果目標		餌料培養における効率化及び生産コストの削減による3年間の総便益額		
		現状値	（令和5年度末時点） 5,810円		
		目標値	（令和5年度末） 7,071千円		
	（1）現状値の説明		成果目標においては、薬品使用料は計画よりも削減できたが、稚貝の大量へい死により、通常であれば2・3月ふ化のみだったが5月ふ化が追加となり、洗浄作業自体は減ったが全体の作業量が増えたため人件費の削減が達成に至らず、電気代についても、電気代の高騰もあり空調設備の電気料が大幅に増えたため、目標達成には至らなかった。 またKPIについては、稚貝大量死等の影響により販売サイズまで育たず、計画時より選別率26%、販売貝数30%の減少となった。真珠景気の向上により販売単価は25%向上したが、販売貝数の低下により収益向上には至っていない。		

	(2) 地域への経済効果	施設が整備され、生産能力が安定し、品質的にも評価向上したことで需要に対応した生産体制が整った。さらに、品質向上の評価により外部からの需要も増えた。
	(3) 所見	電気料が削減できなかった影響で成果目標の達成率は82%となったが、本施設が整備されたことで、良質な餌料を安定供給することで生産量が安定した。
	(4) 評価機関の意見等	適切に利用できているため、特になし。
今後の改善方向等に関する分析		へい死耐性や質のいい真珠を生産する優良アコヤガイの研究、へい死発生時期の予測・予防等によるさらなる品質向上・へい死対策に取組み、漁業者の所得向上や漁協の経営安定を図る。